

～70年代から80年代、「はみだしち子」シリーズなどで熱狂的に支持されたマンガ家～

「没後20年展 三原順復活祭」

明治大学米沢嘉博記念図書館にて2/6～5/31開催

明治大学米沢嘉博記念図書館（東京都千代田区）では、1995年に早逝したマンガ家・三原順の没後20年を記念して「没後20年展 三原順復活祭」を、2月6日（金）～5月31日（日）、展示内容を4期に分けて開催します。（入場無料）

1970年代から80年代にかけて、「はみだしち子」を筆頭にその作品が熱狂的に支持されたマンガ家、三原順。1995年3月、42歳で病没した直後は、それほど大きく取り上げられたわけではありませんでした。しかし、マンガ情報誌で何度も追悼特集が組まれ、ネット上や同人誌でファンたちに熱く語り続けられ、それが三原作品の復刻を求める活動に結びつき、文庫本や復刊本、豪華本の出版など、多くの成果を生みだしてきました。三原順の思索の深さ、児童の虐待、原発問題など、今考えるべき様々な問題への尖鋭的な取り組み。没後20年20冊目の文庫が刊行されるこの期に、今こそ触れてほしいその作品像に迫ります。

会期中は未公開の原画など総数約250点や、書籍、付録、愛用品他、貴重な資料を多数展示し、関連イベントも開催します。

【展示構成】

- 第1期:2/6(金)～3/2(月) グレアムと「はみだしち子」特集
- 第2期:3/6(金)～4/6(月) アンジーと初期短編特集
- 第3期:4/10(金)～4/29(水・祝) サーニンと「ルーとソロモン」ほか
- 第4期:5/1(金)～5/31(日) マックスと「X Day」ほか後期作品特集



【関連イベント】

- (1)3/21(土・祝)16:00～17:30 今こそ読むべき、三原順～復活・三原順会議室～
 - (2)4/4(土)16:00～17:30 「アンジーは私の理想の男性だった！～テルマエロマエの作者、ヤマザキマリが『はみだしち子』を語る～」 無料・会場:リバティタワー1063教室
 - (3)5/16(土)16:00～17:30 三原順の音楽教室/作品に登場する音楽を鑑賞(解説有)
- ※(1)(3)の会場は、米沢嘉博記念図書館2階(入場の際には1日会員300円が必要)



米沢嘉博記念図書館「没後20年展 三原順復活祭」

- 会期:2月6日(金)～5月31日(日) 入場無料
- 会場:明治大学米沢嘉博記念図書館 1F 展示コーナー(東京都千代田区猿楽町1-7-1)
- 開館時間:月・金 14:00～20:00、土・日・祝 12:00～18:00 ※休館日:毎週火・水・木(祝日は開館)
- 主催:明治大学米沢嘉博記念図書館 TEL:03-3296-4554
- 企画協力:鈴木俊裕、白泉社、主婦と生活社、藤本由香里(明治大学国際日本学部教授)



三原順・自画像

【三原順プロフィール】

マンガ家。本名・鈴木順子。1952年10月7日札幌に生まれる。1973年、『別冊マーガレット』掲載の「ぼくらのお見合い」でデビュー。1975年から1981年にわたり『花とゆめ』で連載された「はみだしち子」シリーズによって熱狂的支持層を獲得。以降もセルフマーダー・シリーズ、「X Day」、「ムーン・ライティング」シリーズ等の名作・傑作で読者に感銘を与え続ける。1995年3月20日、病気のため42歳で死去。

追悼の流れから出版された同人誌や秘蔵作品集



三原順によって保管されていた関連グッズ

